

Ex 1197-A

2496A-1

一九四六年三月廿六日、本件係争ニ關スル訊問ヨリノ摘要

問：大將、閣下ハ何時頃東珠溝攻撃計畫ニ達成シマ
シタカ。

答：十月ノ終リカ十一月ノ始メテス。艦隊ト宣令
部トノ間ニハ可成リノ議論ガアリマシタ。艦隊
ハ東珠溝攻撃ヲ謀ビ海軍省務局ハ之ヲ余リニモ
援護トシ米艦隊ヲ南太平洋諸島ニ邀撃スル溫
存戰法フ邊ビマシタ。山本大將ハ彼ノ東珠溝攻
撃作戦ノ信念ニ疑リ固マツテキマシタ。ソシテ
諸シ後ノ計畫方實行ニ移サレナイナラバ幕僚ヲ
引連レテ其ヲ退クト處シマシタ。

問：大將、此ノ時既ニ此ノ計畫ハ機上達ニ海軍々令
部ノ机上ニ於テ事前ノ機動演習方完結シテキタ
ノテハアリマセンカ。

答：ソウテス。艦隊ハ非常ニ訓練シマシタ。

問：ソレテ、大將、海軍々令部ト山本大將トノ意見
ノ衝突ヲ東珠溝攻撃ニアナタガ決裁シタノハ何
時テスカ。

答：私ハ曾メ軍令部ニ達成シテキマシタガ、山本方
非常ニ強硬タツタノテ先ニ申シ置ベタ通り十月
ノ終リカ十一月ノ始メニ東珠溝攻撃ノ計畫ニ達
成シマシタ。海軍々令局ハ彼等ノ長年ノ計畫テ
アル所ノ南太平洋諸島ニ示艦隊ヲ邀撃スル作戦

2496A-2

ヲ決行スル事ニ賛成テシタ。

問 ト而シ大將、私ノ解釋スルトコロテハ閣下ハ海軍
軍令部方長年ノ成績ニ依ル計画ヲ固執シタニモ
拘ラズ、長珠島攻撃方策ニテアルトノ結論ニ達
シハ長珠島攻撃ヲ是認シテ此ノ意見ノ衝突ヲ解
決シタノテアリマスホ、ソウテ有リマセンカ。

答 ト私ニハ軍令部ノ對臺ノ方策監督的テアルト恩ハ
レタノテ、之ヲ希望シマシタ方若シ艦隊司令長
官ノ計画方通ラケレバ彼ハ備職スルグラウカ
ラ艦隊司令長官ヲ備職サセヌタメニハ賛成スル
ノ方景良ノ策クト寺ヘマシタ。

問 トソレテ閣下ハ長珠島攻撃計画ニ賛成シタノテス
ホ。

答 トソウテス。

問 ト真ノ間ノ事情ヲ解釋スルニ、大將、閣下ノ此ノ
賛成方長珠島攻撃ノ決定真因ダツタノテアリマ
スホ、ソウテハ有リマセンカ。

答 トソウテス。

問 トソレテ私ノ考ヘテハ大將ハ事ニ懲シニ對シ
書シテ責任ヲ負フモノト寺ヘマスガ、閣下如何
テセウカ。

答 ト勿論。

問 ト大將、艦隊方長珠島攻撃ヲ決行スル爲、配置ニ

龍ク最初ノ命令ヲ透ケタノハ何時頃テスカ。

答！ 陸隊ハ十一月中少ニ千島ニ集結シ、十一月二十六日乃至二十七日ニ眞珠灣ニ向ケ出發シマシタ。

問！ 大將、陸隊ノ處、一九四一年（昭和十六年）十一月二十八日乃至二十九日頃、連絡會議ガ催サレタノテハアリマセンカ。之ニハ東條首相、東郷外相、賀屋藏相、錦木内田企畫院總裁、杉山參謀總長、同次長田邊大將、軍令部總長ノ閣下、同次長伊萬少將、寺島通相、井野農相、星野内田企畫官長、陸軍支那局長武蔵將軍、海軍支那局長岡中鷲方對米軍等決定ヲ完備スペク參集シタノテハアリマセンカ。

答！ 私ハ期日ニ就イテハ明確テアリマセンガ其ノ通りダト思ヒマス。然シ我々ハ全クギリ々々最終迄平和確立ヲ希望シ本當ノ最後迄眞珠灣の攻撃ノ計画ヲ放棄スル用意ハ皆ツテナタ。此ノ名鑑ニハ海軍大臣鷲田大將方書テテナマス。